

日南市公共施設等総合管理計画

(個別施設計画)

その他建築物編

令和2年3月

南郷町地域振興センター

1. 対象施設

平成29年度末現在、南郷町地域振興センターが所管するその他建築物施設は5施設で延床面積の合計は1,227.70㎡となっております。

No.	施設名	所在地	総床面積 (㎡)	棟数
1	目井津待合所	日南市南郷町中村乙4853-4	62.93	1
2	小浜待合所	日南市南郷町中村乙7907-1	21.80	2
3	竹之尻待合所	日南市南郷町中村乙7847-1	15.94	3
4	ふれあいの丘	日南市南郷町中村乙3686-1	1.44	1
5	南郷清掃センター	日南市南郷町中村甲4389-1	1,125.59	4
合 計			1,227.70	11

2. 計画期間

令和2年（2020年）度から令和8年（2026年）度までの7年間とし、進捗状況の結果等を踏まえて、適宜、計画を見直すものとします。

3. 対策の優先順位の考え方

(1) 施設の役割

市営旅客船待合所施設は、本土と大島を結ぶ市営旅客船「あけぼの3」の待合所施設です。大島を訪れる観光客や釣り人等の待合所として利用されています。目井津待合所では隣接する目井津児童公園（平成2年3月完成）を利用される方のトイレとしても利用されています。また、小浜待合所、竹之尻待合所においては、釣り人等のトイレとしても利用されています。

ふれあいの丘は、災害時の避難場所になっており、避難者がトイレとして利用することを目的として設置しています。

南郷清掃センター施設は、一般廃棄物を適正に処理するために設置された施設です。しかしながら平成23年3月19日からは一般廃棄物の搬入について中止し、本市クリーンセンターへ一本化されています。（平成23年3月31日をもって休止）

(2) 現状と課題

本土と大島を結ぶ唯一の市営旅客船（1日4便）の発着所として目井津待合所は平成5年度に、小浜待合所は平成10年度に建設し、21年度に改修、竹之尻待合所については昭和50年頃に建設しております。昔は、児童・生徒の足として、また島民の本土への交通手段として利用されて来ましたが、近年では観光客や釣り人など年間約8千人超の方々が利用しております。

目井津待合所及び竹之尻待合所については、建設から20年超経過しているため、壁などが老朽化してきており整備が必要な状況であります。

ふれあいの丘のトイレは、昭和61年度に建設され、昭和62年度より供用を開始していません。

南郷清掃センター施設については、平成23年3月19日から一般廃棄物の搬入について本市クリーンセンターへ一本化されておりますが、リサイクルストック倉庫についてはコンテナ及び不法投棄物の一時保管場所として現在も利用しています。塵芥処理施設については残寿命年数が10数年余りありますが、平成24年度から使用していないため、老朽化が進んでいる状況です。平成29年3月に起債の償還が終了しており、今後、廃棄物の処理及び清掃に関する法律等に基づく廃止届等の手続きを行うことが必要であります。

(3) 今後の施設の考え方

旅客船待合所施設については、市営旅客船の待合所であることから利用者を風雨から守り、安全に待機できるよう、引き続き利用することとします。

ふれあいの丘の便所は、災害時の避難者の利用を目的として設置しており、引き続き、適正な管理を行います。

南郷清掃センターの車庫及びリサイクルストック倉庫については現状のまま使用するものとし、塵芥処理施設（1・2）については取壊後に整地（舗装）を行います。また、平地となった敷地は、大規模災害時等における災害ごみの仮置場の候補地の一つとして検討します。

4. 施設の状況等

(1) 施設性能

No.	施設名	建築年度	経過年数	構造	耐用年数	残寿命年数 (年)	耐震		大規模改修	
							診断	改修	年度	改修
1	目井津待合所	H5年度	24	W	15	-9	新	新		
2	小浜待合所	H10年度	19	W	15	-4	新	新		
3	竹之尻待合所	S50年度	42	W	15	-27	未	未		
4	ふれあいの丘	S61年度	31	CB	34	3	新	新		
5	南郷清掃センター	H元年度	28	SRC	38	10	新	新		

(注1) 平成29年度末現在の状況について記載

(注2) 複数の建物からなる施設については、主たる建物について記載

※構造: W=木造、RC=鉄筋コンクリート、SRC=鉄筋鉄骨コンクリート、S=鉄骨、LGS=軽量鉄骨、CB=コンクリートブロック

※残寿命年数: 耐用年数-経過年数〔基準年度-建築年度〕

※耐震診断: 新=新耐震基準(建築年がS57年以降)、済=旧耐震基準(建築年がS56年以前)であるが耐震診断実施済み、

未=旧耐震基準で耐震診断が未実施、不=旧耐震基準であるが新耐震基準で建てられているため、耐震診断不要

※耐震改修: 新=新耐震基準、済=耐震改修が実施済み、未=耐震診断未実施又は耐震改修が必要だが未実施

不=旧耐震基準であるが耐震改修が不要

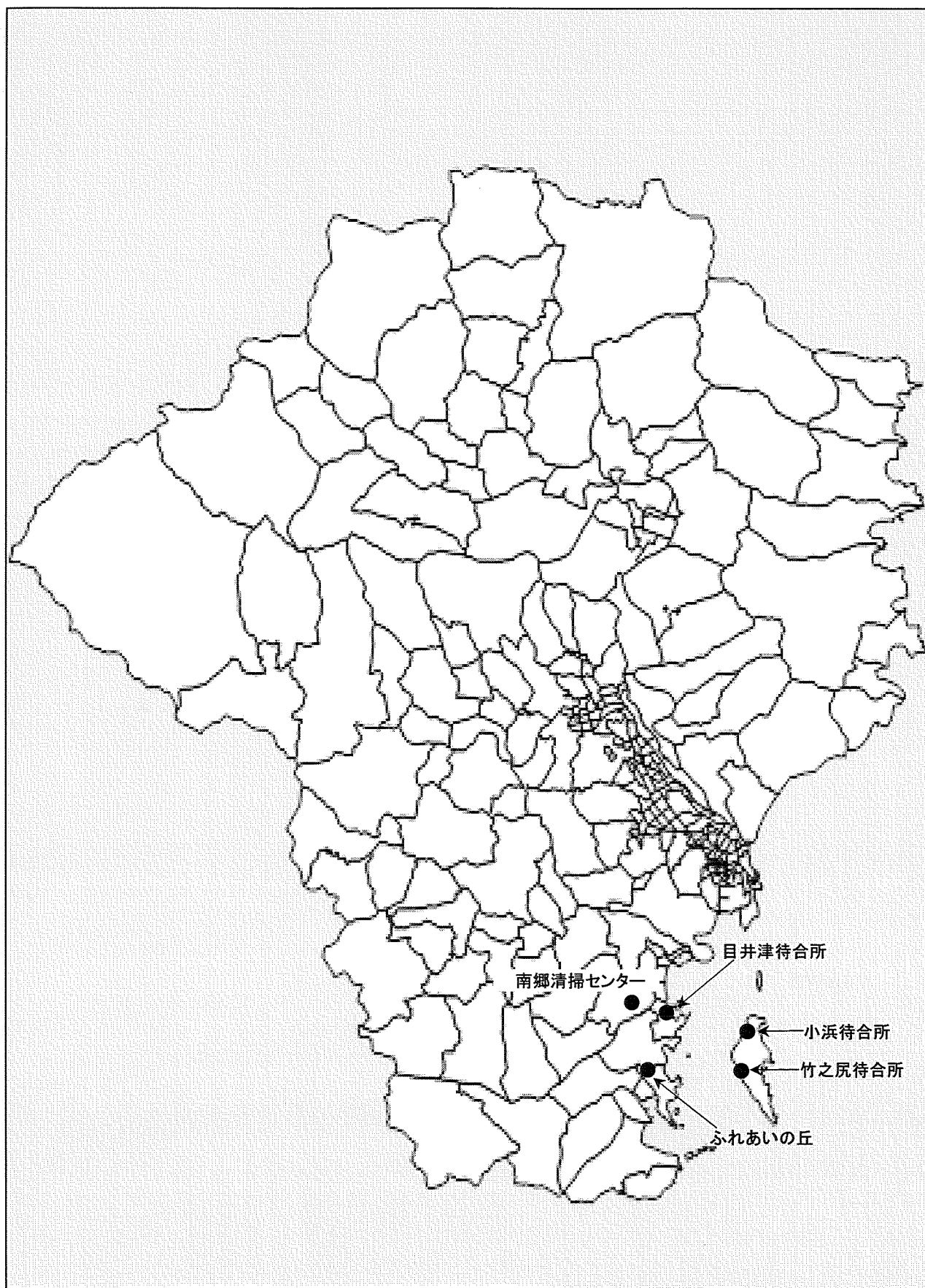
※大規模改修: 屋=屋根改修、屋上防水改修、壁=外壁改修、他=設備改修、内装その他改修

(2) 利用・運営状況

No.	施設名	総床面積 (㎡)	稼動日数 (日)	利用者数 (人)	年間コスト (円)	㎡当たりコスト (円)	1日当たり利用者 数(人)
1	目井津待合所	62.93	338.4	8,291	—	—	24.5
2	小浜待合所	21.80	365	—	—	—	—
3	竹之尻待合所	15.94	365	—	—	—	—
4	ふれあいの丘	1.44	365	—	8,567	5,949	—
5	南郷清掃センター	1,125.59	—	—	624,173	554	—

(注) 稼動日数、利用者数、年間コストは、過去3年間(H27~29年度)の平均を記載

5. 施設配置状況



6. 適正化計画

現状や課題、今後の考え方を踏まえ検討した適正化計画は次のとおりです。

(1) 今後の方針

No.	施設名	方針
1	目井津待合所	市営旅客船が運航している間、継続して利用する。
2	小浜待合所	市営旅客船が運航している間、継続して利用する。
3	竹之尻待合所	市営旅客船が運航している間、継続して利用する。(令和7年度建替え予定)
4	ふれあいの丘	ふれあいの丘のトイレは、災害時の避難者の利用を目的として設置しているため、引き続き適正な管理を行う。
5	南郷清掃センター	塵芥処理施設については、廃棄物の処理及び清掃に関する法律等に基づく廃止手続き後、解体し平地にする。車庫や倉庫については、引き続き不法投棄物等の一時保管場所として利用する。

(2) 計画期間内(7年)の対策内容及び対策費用

(単位:百万円)

No.	施設名	棟名称	項目	計画期間							
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
1	目井津待合所	待合所	対策内容								
			対策費用								
2	小浜待合所	待合所1	対策内容								
			対策費用								
		待合所2	対策内容								
			対策費用								
3	竹之尻待合所	待合所	対策内容							建替え	
			対策費用							5	
		トイレ1	対策内容								
			対策費用								
		トイレ2	対策内容								
			対策費用								
4	ふれあいの丘	トイレ	対策内容								
			対策費用								
5	南郷清掃センター	塵芥処理施設1	対策内容				解体				
			対策費用				32				
		塵芥処理施設2	対策内容				解体				
			対策費用				5				
		車庫	対策内容								
			対策費用								
		リサイクルストック倉庫(ガレージ)	対策内容								
			対策費用								